

平成29年度全国学力・学習状況調査分析結果及び今後の取り組みについて

この調査は児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、指導の充実や学習状況の改善等に役立てるために行われているものです。我孫子中学校では下記のように分析し、教育の充実に取り組んでまいります。

1. 我孫子中学校の結果について

2教科(国語・数学)A問題・B問題ともに全国平均、県平均を越えています。今年度は我孫子中学校の特徴として、次のような点が読み取れました。 ○向上・成果が見られる事項 ●課題が見られる事項

<国語>

- 「資料をもとに話す能力を問う」設問や「構成を工夫して話す」設問では、9割近い正答率であった。普段から授業の中で話し合い活動を取り入れてきた成果が出ていると考えられる。書く力を問う設問においても、自分の考えをまとめ、わかりやすく説明する力がついてきている。読む力についても概ね力がついてきている。
- 漢字や敬語など言語についての力を問う設問では、無回答も多く、基礎的な言語能力の定着を意識して指導を充実させる必要がある。
- 活用問題に関しても、書く力、読む力、言語についての力を複合的に問う設問での誤答が。総合的な国語力の育成が必要である。

<数学>

【数学A(主として知識の問題)】

- 数と式の分野、図形の分野では、全ての問いに全国平均を上回る結果になった。
- 文字を用いて数量を表したり、文字を使った式の変形の問題の部分で少々正答率が落ちる結果になった。文字が何を表しているかをよく理解して、文字を使う意味をしっかりと捉える必要があると考えられる。
- 空間図形を読み取る力には優れているが、おうぎ形や作図など、普段あまり扱うことがない図形の問題では正答率が落ちている。図形の性質を理解しながら図形を見ていくのが今後の課題である。
- 関数の分野では県、全国平均とほぼ変わらない結果だった。関数の意味を理解していないまま、グラフや応用の問題に取りかかっている生徒が多いと考えられる。新しい領域問題に入る部分では、しっかり土台を固めていくことが必要だと考えられる。

【数学B(主として活用の問題)】

- 資料と活用の分野では、与えられた情報から必要な情報を選択し、事象に即して解釈しようとする生徒が多く、全体的に情報を整理する力が伸びていると考えられる。
- 図形の分野では、動きがある図形に対して、全体像を捉えるところまではできてもその図形を数学的な表現を用いて説明するまでいくのに課題が見られる。
- ある事象を数学的に捉え、それを説明する力の向上が今後の課題としてあげられる。

<質問紙>

- 生活経験** 「ものごとを最後までやり遂げた」ことや「学級みんなで協力して何かをやり遂げた」という経験がある生徒が多い。
- 社会への関心・貢献** 「地域・社会の出来事に関心がある」「地域・社会をよくするために何をすべきか考えることがある」「地域社会でボランティア活動に参加したことがある」と地域・社会への関心を持っている生徒が県・国平均に比べて多くいる。
- 読書** 全体の3分の1の生徒が一日30分以上の読書をしている。
- 授業** どの授業でも、課題を立て、「自ら考え、自分から取り組んでいた」「その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいた」と答えた生徒が、県・全国をかなり上回っている結果が出ている。
 - ・「自分の考えを発表する機会が与えられていた」や「話し合う活動をよく行っていた」、「生徒の間で

話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思う」と答えた生徒が県・全国を大きく上回った。

- **言語活動** 「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすること難しい」と思う生徒は少ない。「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることが出来ている」と肯定的な回答をした生徒は多い。
- **学習に対する関心・意欲・態度** ・国語に対して、「国語が好き」「国語の勉強は大切」「授業で学習したことは将来役に立つ」と国語を学習する意味を理解している生徒が県・国と比べて多い。
 - ・数学に対して、「数学が好き」「数学が大切」と答えた生徒は県・国とほぼ同等だが、「数学の授業で学習したことは将来役に立つ」と考えている生徒は多い。
- **生活習慣** 「朝食を毎日食べている」、「就寝時間が決まっている」という生活習慣がついている生徒が例年より少なく、県・国の平均より低い。
- **規範意識** ・「学校の規則を守っている」と答えた生徒が県・全国より10%以上少ない。
 - ・「友達との約束を守っている」「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と答えた生徒が県・全国より少ない。また、「人の役に立つ人間になりたい」と回答した生徒は、県・全国より少なく、校内でも年々減ってきている。
- **家庭学習** ・平日および休日の学習時間は、「3時間以上学習する」生徒が減少傾向にあり、「1時間以上3時間未満」の学習時間の生徒が多くなっている。
 - ・「計画を立てて勉強している」と答えた生徒が校内では増加傾向があるが、県・国と比較すると低い。「宿題をやっている」という生徒は県・国と同等だが、「予習」「復習」をやっているという生徒が例年の生徒たちより減少している。
- **地域の行事** 地域の行事に参加している生徒が少ない。

2. 我孫子中学校の取り組みについて

平成27年度より、我孫子中学校は我孫子市から学力向上研究推進事業「アクティブ・ラーニング研究指定校」、千葉県から「新たな学びに関する教員の資質能力向上のためのプロジェクト」の研究指定を受けております。授業が生徒の主体的な学びの場となるように次の点に重点を置き取り組んでいます。

- ① 生徒と共に創り上げる我孫子中スタイルの確立
- ② 個人による学習の振り返り（まとめ）を取り入れて自律的学習者を育てること
- ③ 毎日の帰りの会や係活動を充実させ、自治の精神を持って、主体的に生活改善に取り組む姿勢を養うこと
- ④ 道徳教育を通じて、一人一人に生き方、他との関わり方を考えさせ、特に他への思いやりや正義を貫く強さを育てること

前述の結果の課題となる点に焦点をあてながら、「授業の充実」「学力向上」「規範意識を高めること」に取り組んでいきます。ご家庭でも「家庭学習の充実」にご協力をお願いいたします。